

目 次

第 11 回学術集会のご案内	2
会場へのアクセス	4
会場案内	6
学術集会に参加される方へのお知らせ	9
日程表 / プログラム	13
11 月 3 日 (祝)	16
11 月 4 日 (土)	17
一般演題 (口演) 11 月 3 日 (祝)	18
一般演題 (示説) 11 月 3 日 (祝)	21
交流集会 11 月 3 日 (祝)	27
一般演題 (口演) 11 月 4 日 (土)	29
一般演題 (示説) 11 月 4 日 (土)	32
交流集会 11 月 4 日 (土)	38
学術集会企画委員	40

日本老年看護学会 第11回 学術集会のご案内

第11回学術集会を下記の要領で開催いたします。昨年日本老年看護学会も10年という節目を迎え、今年は新たな挑戦として「高度医療化時代における高齢者ケアの発展」をメインテーマに、東京女子医大を会場として皆様と集いたいと思います。高齢者の可能性を引き出しながら高度医療を担う看護の方向性を具体的に示すことができるように企画いたしております。

学術集会長 水 野 敏 子
(東京女子医科大学看護学部)

メインテーマ：高度医療化時代における高齢者ケアの発展

- 会 期：2006年11月3日（祝）・4日（土）
- 会 場：東京女子医科大学 弥生記念講堂
〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1 <http://www.twmu.ac.jp/>

プログラム

第1日目：11月3日（祝） 13:00～17:00

- 会長講演 水野 敏子（東京女子医科大学看護学部）
「高度医療化時代における老年看護の可能性」
座長：高崎 絹子（東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科）
- 特別講演 川嶋 朗（東京女子医科大学附属青山女性・自然医療研究所）
「高齢者と代替医療」
座長：水野 敏子（東京女子医科大学看護学部）
- 一般演題 口演・示説
- 交流集会
- 懇親会

第2日目：11月4日（土） 9:30～16:00

- 一般演題 口演・示説
- 交流集会
- ランチョンセミナー
- 総会
- シンポジウム 「急性期医療における高齢者ケアの専門性」
座長：沼本 教子（神戸市看護大学）
栗生田友子（新潟県立看護大学）
シンポジスト：
須釜 淳子（金沢大学大学院医学系研究科）
綿貫 成明（藍野大学医療保健学部）
道又 元裕（日本看護協会看護研修学校）

参加・懇親会申し込み方法

1) 学術集会参加費・懇親会費

	学術集会参加費	懇親会費
会 員	事前参加受付（2006 年 10 月 10 日までの申し込み） 7,000 円 当日参加受付 8,000 円	5,000 円
非会員	8,000 円	
4 日のみ参加 (非会員のみ)	4,000 円 11/4 の当日に参加費をお支払いください *抄録集は付きません。別途、会場でお求め下さい	

* 学術集会参加費は年会費とは別になります。特に平成 18 年度入会の方は注意してください。

* 11/4 のランチョンセミナーの整理券の配布時間と場所は、本プログラム集 p.9 あるいは当ホームページの学術集会のご案内をご参照下さい

2) 申し込み方法

- 同封の郵便振込用紙に、①所属②氏名（ふりがなをふってください）③会員（会員番号も記入）、非会員の区別④懇親会参加の有無などご記入のうえ、所定の金額をお振込みください。振込票を持ちまして受領証にかえさせていただきます（受領証は学術集会当日まで保存しておいてください）。
- 郵便局備え付けの振込用紙を用いる場合も同様です。振込先は以下のとおりです。

● 振込先 郵便局

口座番号	0 0 1 4 0 - 2 - 2 7 9 9 5 4
加入者名	日本老年看護学会第 11 回学術集会

- 事務処理の都合上、事前参加申し込みは平成 18 年 10 月 10 日で締め切りとなります（以後振り込みはできません）。10 月 10 日以降のお申し込みは、学術集会当日に受け付けいたします。
- 10 月 10 日までに学術集会参加費等を振り込まれた方には事前に学術集会抄録集ならびに参加証を送付いたします。ご確認のうえ、学術集会当日に忘れずにお持ちください（万が一、抄録集や参加証が届かなかった場合は学術集会当日に振込票をお持ちください）。

3) 抄録集販売

抄録集は学術集会開催中、1 部 2,500 円で販売いたします。抄録集のみ申し込みされる方は上記振込先に 2,500 円を振り込んでください。その際、通信欄に抄録集希望とお書きください（学術集会開催後の送付となります）。

● 学術集会事務局

日本老年看護学会事務センター 学会入会の連絡はこちらをお願いします

〒 105-0001 東京都港区虎ノ門 3 - 7 - 2 大橋ビル 2F 日本老年看護学会事務センター

TEL : 03 - 3431 - 3715

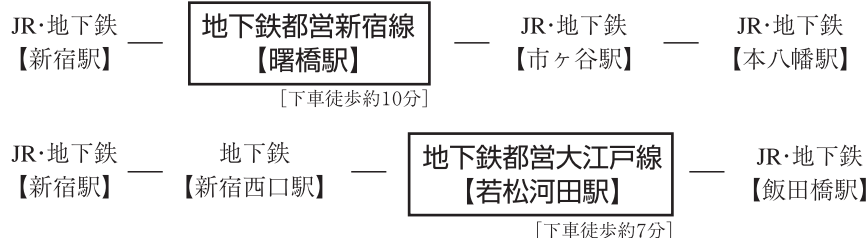
FAX : 03 - 3431 - 3325

E-mail : world@med.email.ne.jp

問合せ時間：午前 10 : 00 ～午後 5 : 00（月曜～金曜・ただし土日祝日は休み）

会場へのアクセス

■ 地下鉄利用

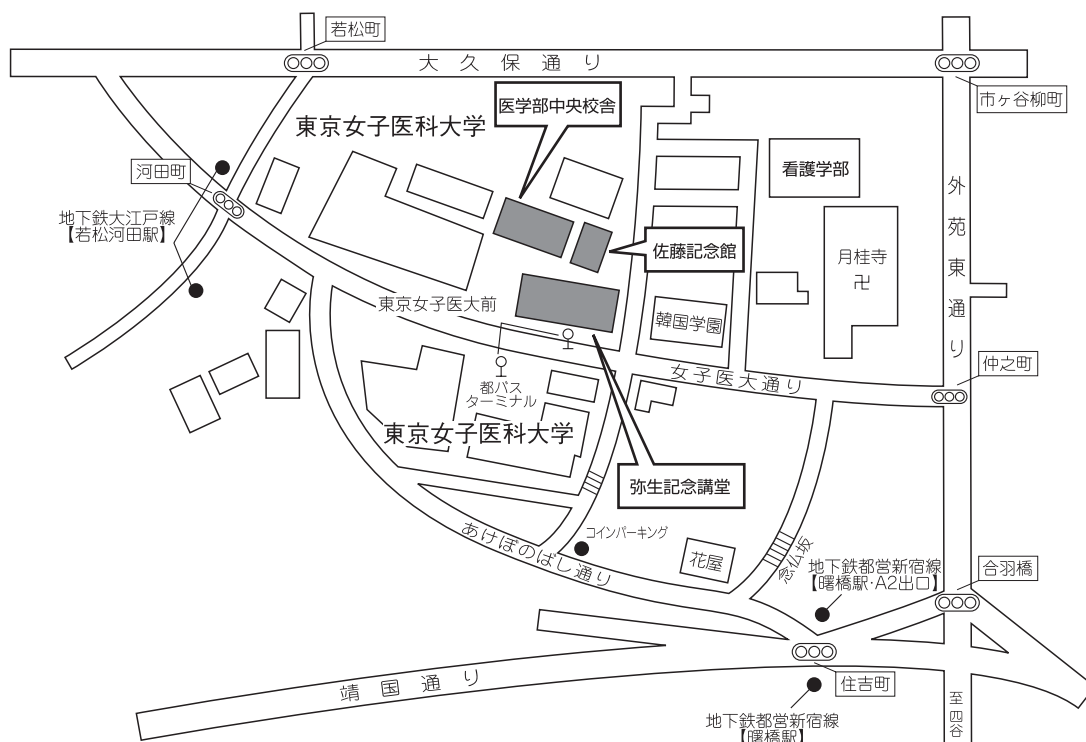


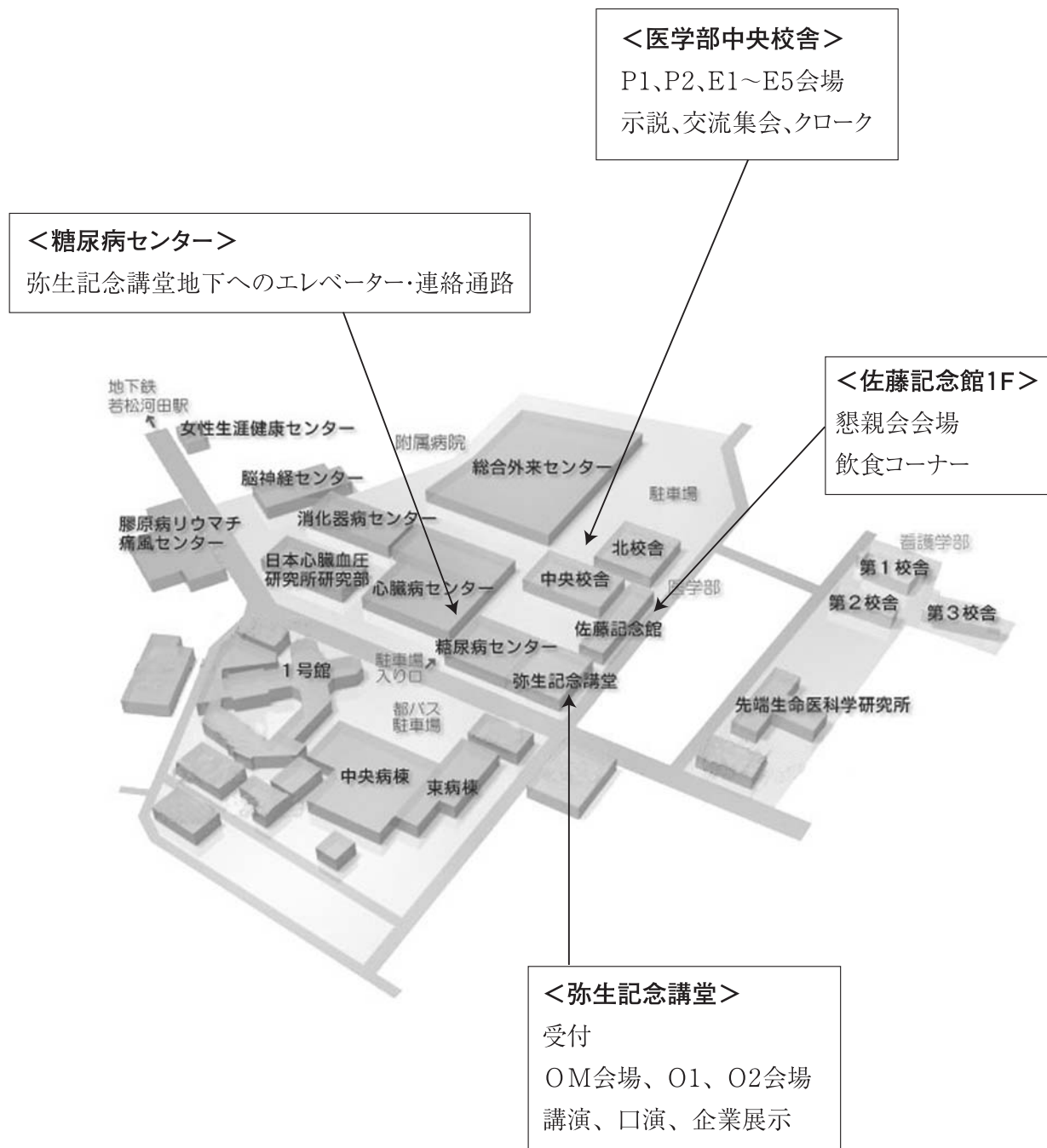
■ 都バス利用 女子医大下車

- JR新宿駅西口より女子医大行（宿74、75）
- JR渋谷駅東口又は原宿駅より早大正門行（早81）
- JR市ヶ谷駅より高田馬場駅行（高71）
- JR高田馬場駅より九段下行（高71）
- 東京メトロ東西線早稲田駅より渋谷駅東口行（早81）
- 東京メトロ東西線九段下駅より高田馬場駅行（高71）
- 都営地下鉄新宿線九段下駅より高田馬場駅行（高71）
- 東京メトロ丸の内線四谷3丁目駅より早大正門駅（早81）

■ 駐車場は使用できません。

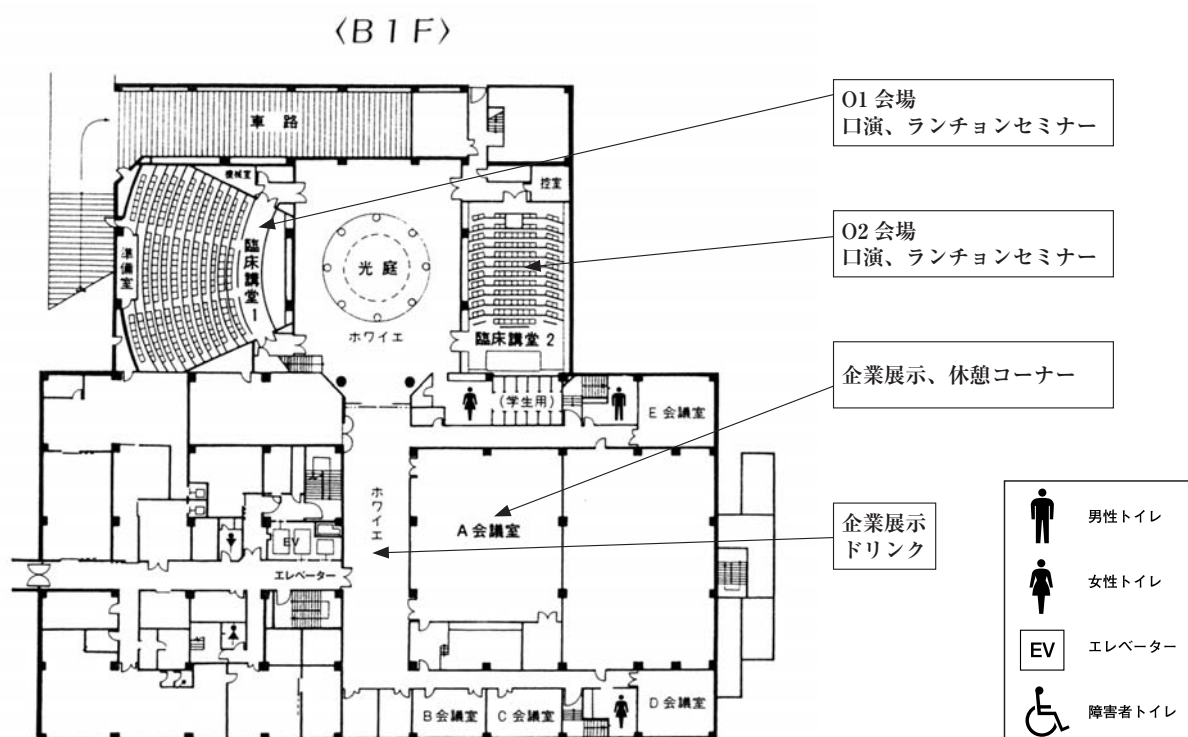
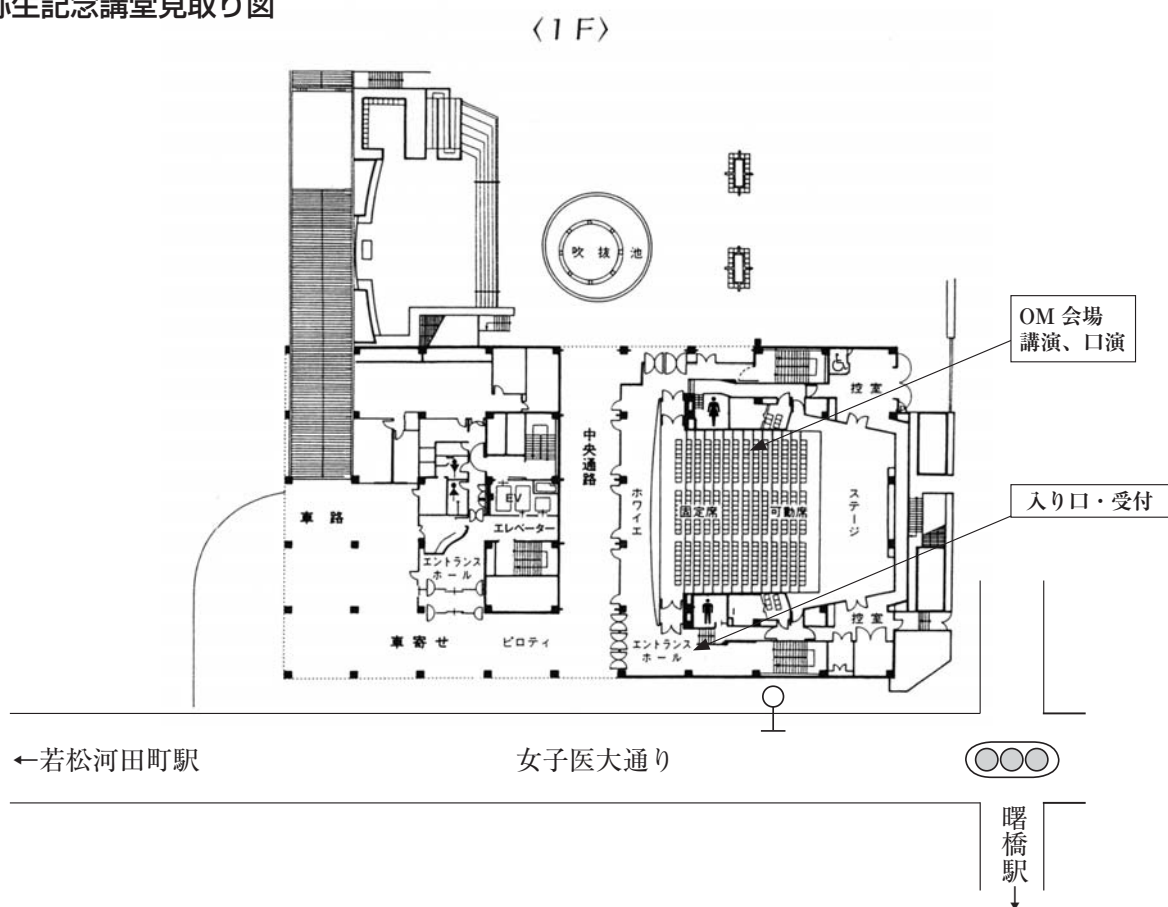
■ 本学会では宿泊施設の斡旋はしておりません。



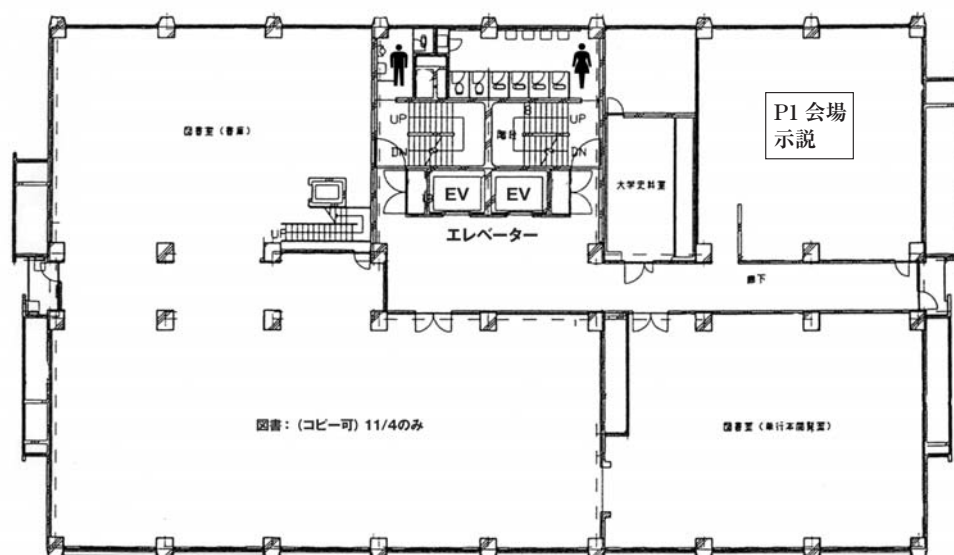


会場案内

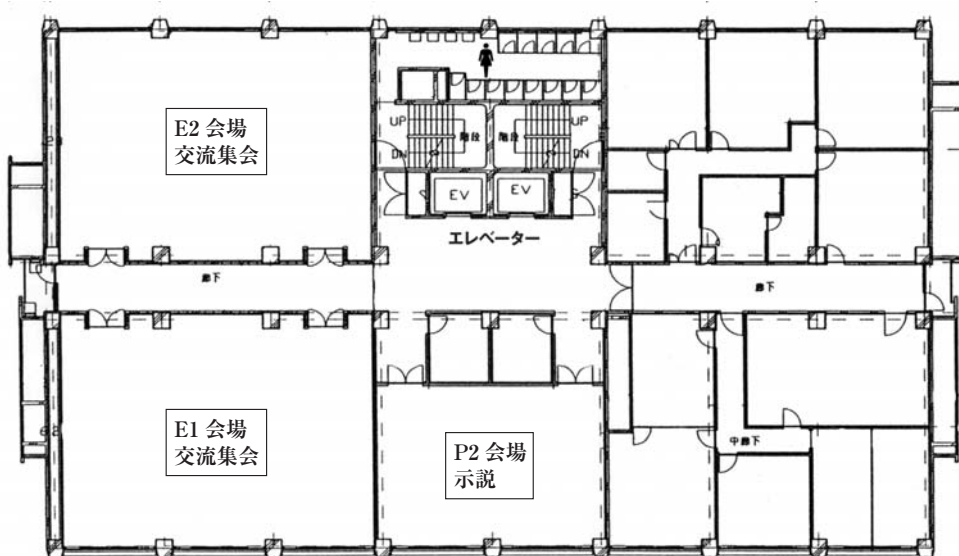
弥生記念講堂見取り図



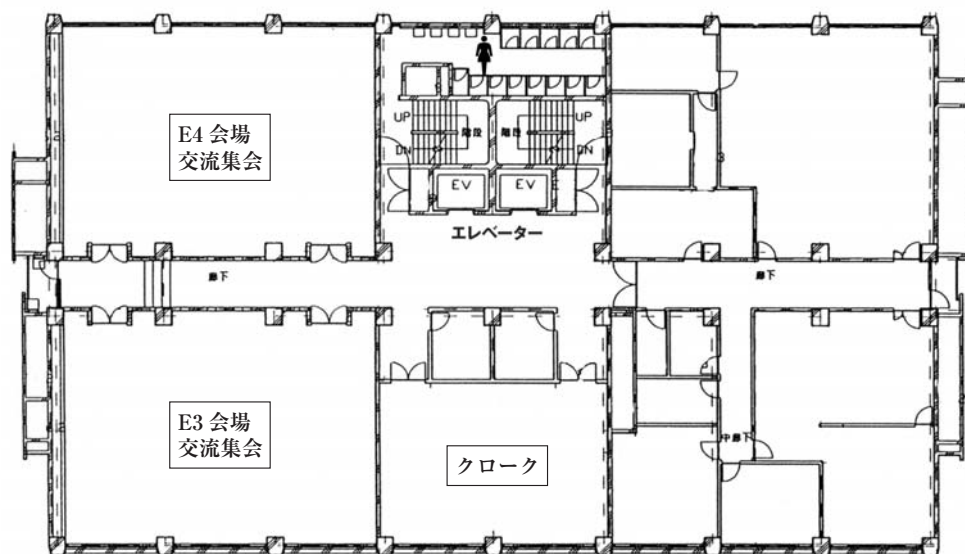
医学部中央校舎 2 階



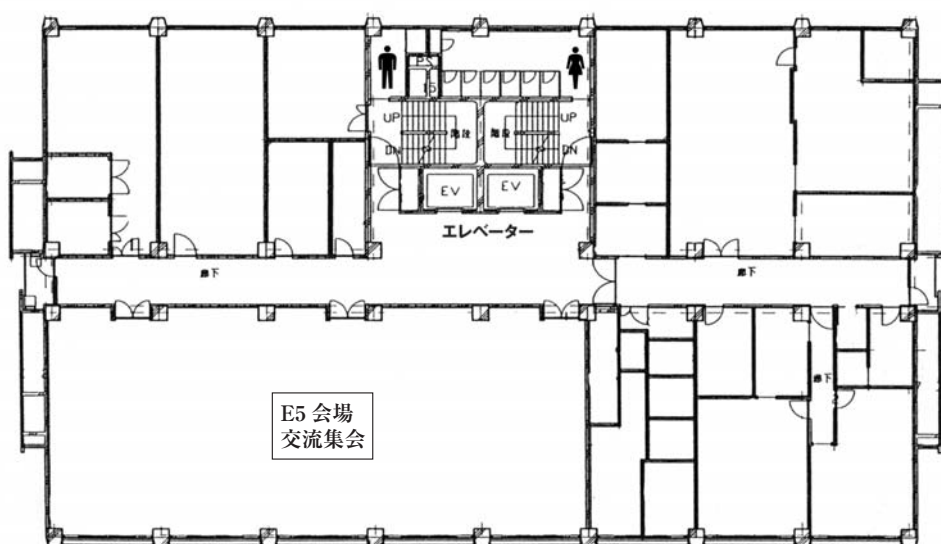
医学部中央校舎 4 階



医学部中央校舎 5 階



医学部中央校舎 9 階



学術集会に参加される方へのお知らせ

1. 参加者の皆様へ

1) 抄録集について

- 事前に参加申し込みされた方（原則として10月10日までにお申し込みの方）には10月下旬にネームカードと一緒に発送いたします。

2) 受付について

- 受付は弥生記念講堂1階入り口にあります。
- 会場到着時にお立ち寄りください。
- 事前に参加申し込みされた方は、「事前参加受付」にお越しください。
- 当日に参加を申し込まれる方（10月10日以降は当日受付になります）は、「当日受付」にお越しください。
- 会場内ではネームカードに紐を通し、必ず身につけてください。

受付設置時間	11月3日（祝）12:00～16:30
	11月4日（土）8:30～14:30

3) クロークのご利用について

クロークは会場（医学部中央校舎）5階に設置いたしますのでご利用ください。

クロークのご利用時間	11月3日（祝）12:00～17:30
	11月4日（土）8:30～16:30

※ 尚、11月3日（祝）懇親会に参加される方は、クロークから荷物をお受け取りになり、ご参加ください

4) 昼食・飲食について

- ランチョンセミナーの整理券は11月4日（土）8:30より、弥生記念講堂1階受付にて配布いたします。尚、数には限りがございますのでご了承下さい。
- 昼食は両日ともに会場周辺の飲食店をご利用下さい。（会場周辺飲食マップ参照）
- 昼食を売店で購入等された場合、昼食会場として佐藤記念館を開放しておりますので、ご利用下さい。

5) 懇親会

- 講師の先生方や参加者同士の交流を深める場として懇親会を設けております。1日目のプログラム終了後、佐藤記念館で開催します。多数のご参加をお待ちしています。
- 事前にお申し込みいただいた方には、当日、参加受付の際、ネームカードにシールを貼付させていただきます。
- 当日参加も受けつけております。「懇親会受付」にて申し込みを行って下さい。

- 懇親会費は 5,000 円です。

6) 発表会場について

- 発表会場での写真撮影（カメラ付携帯電話の使用も含む）およびテープ録音などをご遠慮ください。（必要な場合は必ず発表者の許可を得てください。）
- 会場内での携帯電話の使用はご遠慮ください。

7) その他

- 落し物・忘れ物は受付でお預かりいたします。
- 会場での呼び出しは行いませんので、受付近くに設置する連絡用掲示板をご活用下さい。

2. 会長、講演者、座長、シンポジストの方へ

- 弥生記念講堂 1 階入り口「座長・演者受付」で受付を行ってください。

3. 発表群座長の方へ

- 弥生記念講堂 1 階入り口「座長・演者受付」で、遅くとも担当群の開始 30 分前までに受付を行ってください。
- 担当群の発表開始 10 分前までに各会場の「次座長座席」にご着席ください。

4. 口演発表される方へ

1) 発表者の受付

- 弥生記念講堂 1 階入り口「座長・演者受付」で、発表 1 時間前までに必ず受付を行ってください。
- 11 月 4 日に発表される方は、前日に受付を行うことも可能です。
- パワーポイントの動作確認を受付で行って下さい。

2) パワーポイントの使用について

- 学会準備の PC の仕様は以下の通りです。

OS：Windows XP

アプリケーションソフト：Power Point 2000,2003

- 学会準備の PC にてご発表をする場合（データを持参する場合）のメディアは、USB フラッシュメモリーもしくは CD-R にてご用意下さい。なお、ファイル名は「演題番号、発表者氏名」で保存してください。
- 上記以外の仕様でのご発表の場合（Macintosh、動画（Windows, Macintosh とも））は、必ずご自身の PC をご持参下さい。また、PC 本体を持ち込む方は、電源コード及びミニ D-SUB15 ピンをご用意下さい。
※ミニ D-SUB15 ピンにあわない形状の外部モニター出力端子の場合は、必ずご自身で変換アダプタをご用意下さい。パワーポイントは、Windows 版に限ります。
- USB フラッシュメモリー内は発表演題のファイルのみ保存してください。その他のものは保

存しないようにお願いいたします。(CD-R の場合も同様をお願いいたします。)

- 必ずウイルスチェックを行った上、お持ちください。
- 受付係の指示に従い、USB フラッシュメモリーから設置のコンピューターでファイルの確認をしてください。(係のものがお手伝いします。)

3) 発表方法

- 発表者はその群の開始 10 分前にまでに各会場にお集まり下さい。
- 次発表者は次発表者席に着席してください。
- 発表時間は 10 分、質疑討論は 5 分、1 演題につき計 15 分です。
- 発表の終了 1 分前に 1 回、終了時に 2 回ベルでお知らせします。時間厳守をお願いいたします。
- パワーポイントをご使用の方は、スライド画面おくりはご自身でお願いいたします。

4) その他

- 追加資料の印刷等は応じられません。必要な場合には各自で準備してください。その際は上部に演題番号ならびに演題名を付記してください。

5. ポスターで発表される方へ

1) 発表者の受付

- 弥生記念講堂 1 階入り口「座長・演者受付」で、指定討論時間の 1 時間前までに必ず受付を行って下さい。
- 掲示に必要な道具（画びょう）は、会場に用意いたします。
- 指示棒が必要な方は各自で持参下さい。

2) 発表方法

- 本学術集会では、座長による進行は行いません。
- 指定討論時間を設けています。この時間には、発表者は必ず掲示ポスターの前に待機して、各自で参加者への説明および参加者からの質問や討論に対応してください。

3) 指定討論時間

- 指定討論時間は以下の通りです。発表者は、指定討論の時間 5 分前までにポスターの前に待機するようにしてください。

11 月 3 日（祝）A（前半）：15：30 ～ 16：15 B（後半）：16：15 ～ 17：00

11 月 4 日（土）A（前半）：9：30 ～ 10：30 B（後半）：10：30 ～ 11：30

4) ポスターの掲示・撤去時間

- 掲示：ポスターは以下の時間内に指定された場所に掲示してください。

11 月 3 日（祝）12：00 ～ 15：00

11 月 4 日（土）8：30 ～ 9：30

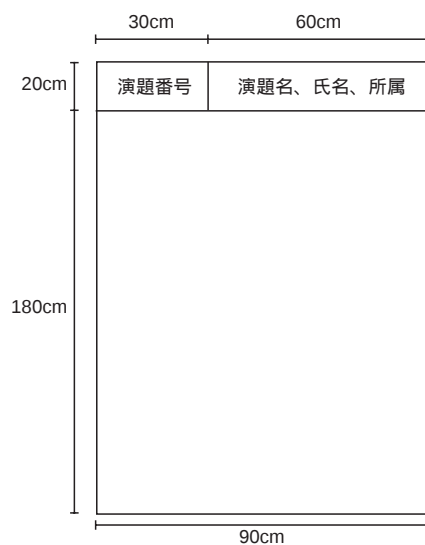
- 撤去：ポスターは以下の時間内に速やかに撤去をお願いいたします。

11月3日（祝）17:00～17:30

11月4日（土）14:00～15:00

5) ポスターの掲示について

- ポスター掲示用スペースは一演題 200（縦）× 90（横）cm です。
- 演題番号は学術集会で準備します。
- 該当の演題番号（約 20cm × 30cm）が貼られている脇に 20 × 60cm 以内で、演題名、氏名、所属を書いた用紙を貼付してください。
- スペースの使い方は自由です。



6) その他

- 追加資料が必要な場合は各自で準備をしてください。

6. 交流集会について

- 主催者の方は「座長・演者受付」で受付を行ってください。運営、資料の準備などは主催者にお任せいたします。なお、主催者の方には別途 e-mail で交流集会の運営に当たっての留意事項をお知らせしておりますので、内容をご確認下さい。
- 交流集会に参加を希望される方は、直接各交流集会にお越し下さい。

日 程 表

プ ロ グ ラ ム

11月3日(祝)

会場 時間		11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
会場	時間								
受付 メインホール入り口 弥生記念講堂1F			12:00～ 受付						
OM会場 メインホール (弥生記念講堂1F)				13:00～13:50開会 会長講演	14:00～15:20 特別講演	15:30～16:15 口演 OM-1 転倒予防	16:15～17:00 口演 OM-1 倫理		
O1会場 臨床講堂Ⅰ (弥生記念講堂B1F)						15:30～16:15 口演 O1-1 高齢者の生活とケア	16:15～17:00 口演 O1-1 ターミナルケア		
O2会場 臨床講堂Ⅱ (弥生記念講堂B1F)						15:30～16:15 口演 O2-1 高齢者の心理1	16:15～17:00 口演 O2-1 在宅サービス		
P1会場 (医学部中央校舎2F)			ポスター掲示時間						
P2会場 (医学部中央校舎4F)						15:30～16:15 示説 P1-1-A	16:15～17:00 示説 P1-1-B	ポスター 撤去時間	
E1会場 (医学部中央校舎4F)						15:30～17:00 交流集会 E1-1			
E2会場 (医学部中央校舎4F)						15:30～17:00 交流集会 E2-1			
E3会場 (医学部中央校舎5F)						15:30～17:00 交流集会 E3-1			
E4会場 (医学部中央校舎5F)						15:30～17:00 交流集会 E4-1			
E5会場 (医学部中央校舎9F)						15:30～17:00 交流集会 E5-1			
佐藤記念館1F									17:30～19:00 懇親会
メインホール 地下ホワイエ・A会議室 (弥生記念講堂B1F)				13:00～17:00 企業展示・休憩コーナー					

11月4日(土)

会場		時間		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
受付 メインホール入り口 弥生記念講堂1F				8:30～	受付							
OM会場 メインホール (弥生記念講堂1F)					9:30～10:30 口演 OM-2 入院している患者のケア	10:30～11:30 口演 OM-2 認知症ケア			12:50～13:40 総会	14:00～16:00 シンポジウム		
O1会場 臨床講堂Ⅰ (弥生記念講堂B1F)					9:30～10:30 口演 O1-2 家族援助	10:30～11:30 口演 O1-2 高齢者の機能と健康		11:40～12:40 ランチョンセミナー1				
O2会場 臨床講堂Ⅱ (弥生記念講堂B1F)					9:30～10:30 口演 OM2-2 看護教育	10:30～11:30 口演 OM2-2 高齢者の心理2		11:40～12:40 ランチョンセミナー2				
P1会場 (医学部中央校舎2F)		ポスター掲示時間		9:30～10:30 示説 P1-2-A		10:30～11:30 示説 P1-2-B	ポスター掲示時間					
P2会場 (医学部中央校舎4F)				9:30～10:30 示説 P2-2-A		10:30～11:30 示説 P2-2-B						
E1会場 (医学部中央校舎4F)				9:30～11:30 交流集会 E1-2		ポスター掲示時間						
E2会場 (医学部中央校舎4F)				9:30～11:30 交流集会 E2-2								
E3会場 (医学部中央校舎5F)				9:30～11:30 交流集会 E3-2								
E4会場 (医学部中央校舎5F)				9:30～11:30 交流集会 E4-2								
佐藤記念館1F												
メインホール 地下ホワイエ・A会議室 (弥生記念講堂B1F)				9:30～14:00 企業展示・休憩コーナー								

プログラム

11月3日（祝）第1日目

13:00～13:50	■ 会長講演 「高度医療化時代における老年看護の可能性」 水野 敏子（東京女子医科大学） 座長：高崎 絹子（東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科）	OM 会場
14:00～15:20	■ 特別講演 「高齢者と代替医療」 川嶋 朗（東京女子医科大学附属青山女性・自然医療研究所） 座長：水野 敏子（東京女子医科大学）	OM 会場
15:30～17:00	■ 一般演題	OM 会場 O1 会場 O2 会場
	口演（18 題）	
	示説（51 題）	P1 会場 P2 会場
■ 交流集会	介護老人保健・福祉施設の看護職者のための 教育プログラム開発と支援	E1 会場
	災害で高齢者を死なせない：災害時避難支援と避難後支援	E2 会場
	認知症高齢者看護認定看護師の活動報告	E3 会場
	老年看護学教育および教育研究の課題と今後の展望	E4 会場
	攻撃的行動のある認知症高齢者のケアに関わる スタッフの教育プログラムの検討	E5 会場
17:30～19:00	■ 懇親会	佐藤記念館 1F

11月4日（土）第2日目

9:30～11:30 ■一般演題	口演（24題）	OM会場 O1会場 O2会場
	示説（50題）	P1会場 P2会場
■交流集会	認知症高齢者の尊厳を支えるための評価システム －老年看護における認知症ケアマッピングの現状と課題－	E1会場
	みんなで考えよう！倫理調整 Part 2 －高齢になった時、あなたが望むケアとは－	E2会場
	診療報酬改定と老年看護の取り組み	E3会場
	だれでもできる 最新の簡単、安全、高齢者の口腔ケア	E4会場
11:40～12:40 ■ランチョンセミナー「認知症高齢者の病気説明と尊厳」	今井 幸充（日本社会事業大学） 座長：堀内 ふき（茨城県立医療大学）	O1会場
	「最新の高齢者の褥瘡予防 －脆弱な皮膚に着目したスキンケア－」 溝上 祐子（日本看護協会看護研修学校） 座長：須釜 淳子（金沢大学大学院医学系研究科）	O2会場
12:50～13:40 ■総会		OM会場
14:00～16:00 ■シンポジウム	テーマ「急性期医療における高齢者ケアの専門性」 座長：沼本 教子（神戸市看護大学） 栗生田友子（新潟県立看護大学）	OM会場
	「入院中の高齢者のエビデンスにもとづいた褥瘡予防対策」 須釜 淳子（金沢大学大学院医学系研究科）	
	「高齢者のせん妄の予測・予防とケア－その根拠と対策」 綿貫 成明（藍野大学医療保健学部）	
	「高齢者の重症集中ケア実践と今後の展望 実践と教育の立場から」 道又 元裕（日本看護協会看護研修学校）	

一般演題《口演》

11月3日（祝） OM会場（メインホール）		
転倒予防		
時間 15:30～16:15	座長 金沢大学大学院	泉キヨ子

- OM-1-A1 活動量に差がある高齢者の歩行に影響する要因の特徴
 —地域活動参加高齢者とデイケア利用高齢者の比較—
 西田佳世（愛媛県立医療技術大学）
- OM-1-A2 急性期医療施設における高齢者の転倒発生要因
 —性差，入院日数，疾患背景，行動目的よりの考察—
 鈴木奈緒子，三角美智子，水上彩，浅野直也，奥泉宏康，長屋政博（国立長寿医療センター）
- OM-1-A3 介護老人保健施設入所者の視機能
 —視力・屈折検査と眼科受診状況の結果から—
 丸井明美（つくば国際短期大学），堀内ふき（茨城県立医療大学）
 小野沢ふさ江（医療法人健佑会いちほら病院）
 有安正規（あだち眼科），矢野隆（海老名総合病院）

11月3日（祝） OM会場（メインホール）		
倫理		
時間 16:15～17:00	座長 初台リハビリテーション病院	井上 郁

- OM-1-B4 認知症高齢者の胃瘻造設の意思決定と看護支援
 迫田綾子，吉野純子（日本赤十字広島看護大学）
- OM-1-B5 高齢者に対する家族介護者の攻撃反応と影響要因
 生田由加利（岡山大学大学院保健学研究科博士後期課程）
 西田真寿美（岡山大学医学部保健学科）
- OM-1-B6 A県内の医療施設における身体拘束の現状と課題
 —看護職スタッフと病棟トップの捉える実態と取り組みの観点から—
 栗生田友子（新潟県立看護大学），根本茂代子（磐城共立高等看護学院）
 添田しげみ，新保幸子（寿泉堂香具山病院）
 鈴木春美（社会保険二本松病院），清塚理江（福島県立医科大学），高木光恵（総合南東北病院）
 鈴木初子（いわき共立看護専門学校），中村輝旗（総合南東北病院）
 小平廣子（福島県立医科大学）

11月3日（祝） O1会場（臨床講堂Ⅰ）			
高齢者の生活とケア			
時間	15:30～16:15	座長	北海道医療大学 山田律子

- O1-1-A7 粘稠剤を利用した経管栄養における胃食道逆流現象の低減効果の検討
相田志穂，泉正美，林由美子（砺波サンシャイン病院）
- O1-1-A8 摂食・嚥下障害を有する高齢入院患者に対する看護実践の考察
千葉由美（東京医科歯科大学大学院）
- O1-1-A9 高齢者施設における利用者への入浴ケアのデザインに関する研究
ー入浴ケア，入浴拒否者およびその援助の実態を通してー
川島和代（石川県立看護大学），釜親美香（石川県済生会金沢病院）
橋本智恵（石川県立看護大学大学院）
藤本悦子，有田広美，諸江由紀子，大島千佳，田村幸恵（石川県立看護大学）

11月3日（祝） O1会場（臨床講堂Ⅰ）			
ターミナルケア			
時間	16:15～17:00	座長	聖隷クリストファー大学 矢部弘子

- O1-1-B10 高齢者が自ら考える終末期
ーインタビューからー
深澤圭子，根本和加子，渋谷恵子（名寄市立大学保健福祉学部看護学科）
- O1-1-B11 特別養護老人ホームにおいて最期を迎える利用者への援助
井澤玲奈（北里大学病院），水野敏子（東京女子医科大学）
- O1-1-B12 認知障害がある寝たきり高齢者の終末期ケアに関する研究
ー苦痛に対する看護者の関わりー
松本佐知子（財団法人湯浅報恩会 寿泉堂香久山病院）

11月3日（祝） O2会場（臨床講堂Ⅱ）			
高齢者の心理1			
時間	15:30～16:15	座長	東京女子医科大学 伊藤景一

- O2-1-A13 スーパー高齢者の魅力の構成要素についての研究
藤本由紀（医療法人社団緑成会 横浜総合病院）
- O2-1-A14 高齢者のスピリチュアリティ構造の意味に関わる研究
—対話過程から表出された高齢者の生きられた体験の探究をとおして—
鈴木美代子（岩手県立大学看護学研究科博士後期課程），石川みち子（岩手県立大学）
- O2-1-A15 高齢者のおしゃれ意識と日常生活行動および主観的幸福感との関連
—施設入居者とデイサービス利用者に焦点をあてて—
石塚敦子（桜美林大学大学院），小川妙子（順天堂大学 医療看護学部）

11月3日（祝） O2会場（臨床講堂Ⅱ）			
在宅サービス			
時間	16:15～17:00	座長	日本赤十字豊田看護大学 小西美智子

- O2-1-B16 在宅療養者及び家族の在宅サービス利用要因に関する研究
—サービスによる要因の違いに焦点を当てて—
松本美祐紀（鎌ヶ谷市役所健康管理課），千原明美（千葉大学大学院看護学研究科）
石垣和子，山本則子（千葉大学看護学部）
- O2-1-B17 在日コリアン高齢者の在宅ケアサービス利用意向に関連する要因の分析
李錦純（大阪大学大学院人間科学研究科研究生），水野敏子（東京女子医科大学）
- O2-1-B18 在宅認知症ケアにおける訪問看護のサービスの質基準の開発
田高悦子，宮本有紀（東京大学大学院医学系研究科）
緒方泰子（千葉大学），門田直美（日本赤十字看護大学），馬場先淳子（株式会社リブライフ）

一般演題《示説》

11月3日（祝） P1会場（医学部中央校舎2F）

討論指定時間 15:30～16:15

認知症ケア

- P1-1-A43 在宅認知症高齢者のための学際的チームアプローチの質評価枠組みの開発**
 亀井智子（聖路加看護大学）、友安直子（前聖路加看護大実践開発研究センター）
 梶井文子（聖路加看護大学）、久代和加子（淑徳大学）
 杉本知子（聖路加看護大学大学院博士後期課程）、山田艶子（聖路加看護大学）
 中山かおり（聖路加国際病院）、辻彼南雄（ライフケアシステム）、橋本泰子（大正大学）
- P1-1-A44 認知症高齢者に動物介在療法を導入することの効果**
 妹尾睦美（倉敷中央病院）、岡田梨絵（岡山ビジネスカレッジ）
 太湯好子（岡山県立大学保健福祉学部）、小林春男（川崎医療福祉大学医療福祉学部）
 三宅理恵子（アクティブホーム高松）
- P1-1-A45 高齢者訪問看護における認知症ケアの質評価指標の開発（第1報）**
 ー 質評価指標の試案作成 ー
 鈴木祐恵、金川克子、天津栄子、佐藤弘美、
 伴真由美、細川淳子、伊藤麻美子、松平裕佳（石川県立看護大学）
 石垣和子、山本則子（千葉大学看護学部）
- P1-1-A46 高齢者訪問看護における認知症ケアの質評価指標の開発（第2報）**
 ー 全国の訪問看護師への予備調査 ー
 伴真由美、金川克子、天津栄子、佐藤弘美、
 鈴木祐恵、細川淳子、伊藤麻美子、松平裕佳（石川県立看護大学）
 石垣和子、山本則子（千葉大学看護学部）
- P1-1-A47 市と大学の共同による「ものわすれ相談窓口」の取り組みの現状と課題**
 中島洋子、古村美津代、木室知子（久留米大学医学部看護学科）
 樋口千恵子、西依信樹（久留米市保健福祉部長寿介護課）
- P1-1-A48 入浴拒否をする認知症高齢者への対応**
 我妻雪子（東京女子医科大学大学院博士前期課程）、水野敏子（東京女子医科大学）
- P1-1-A49 認知症患者の行動障害と看護介入**
 ー 帰宅要求のある患者の行動変容に影響する諸要因 ー
 河口朝子、松下年子、大浦ゆう子（国際医療福祉大学大学院）
- P1-1-A50 回想法がもたらす認知症高齢者ケアスタッフへの効果**
 ー 参加回数とバーンアウト・コーピング状況との関連 ー
 内野聖子（東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士後期課程）
 高崎絹子（東京医科歯科大学大学院）
- P1-1-A51 老人看護専門看護師と認知症高齢者看護認定看護師の連携と協働**
 ー 長期高齢者医療施設におけるケア実践力の向上のために ー
 桑田美代子、四垂美保、後智子、塩塚優子（青梅慶友病院）

高齢者虐待

P1-1-A52 沖縄県における介護保険施設従事者の身体拘束に関する意識と実態

ー J-PRUQ を用いての調査から ー

眞榮城千夏子，國吉緑（琉球大学医学部保健学科），与那城優美（琉球大学医学部附属病院）
富岡恵理子（松山市地域包括支援センター），赤嶺依子，古謝安子（琉球大学医学部保健学科）

高齢者観

P1-1-A53 住民の地域ケア力（第2報）

ー A市Bサロンの活動分析を通して ー

飯村富子（日本赤十字広島看護大学）
佐々木真実，北村恭子，薬師寺文子（日本赤十字広島看護大学研究科）

P1-1-A54 看護師が認知症高齢者に対してもつイメージ

佐藤圭子（茨城県立つくば看護専門学校），松野未来（取手協同病院）
浅野均（茨城県きぬ看護専門学校）
丸井明美，関千代子（つくば国際短期大学），上原朋子（土浦協同病院附属看護専門学校）
山岸千恵（茨城キリスト教大学），曾田美恵子（茨城県きぬ看護専門学校）
沼里悦子（東京医科大学霞ヶ浦病院），安川揚子（茨城県立医療大学学外共同研究員）
堀内ふき（茨城県立医療大学）

退院支援

P1-1-A55 急性期病院での後期高齢者の退院援助に関する研究

ー 意思表示を引き出す看護者の関わりに焦点をあてて ー

玉田田夜子（兵庫県立姫路循環器病センター）

P1-1-A56 大腿骨骨折患者の歩行機能追跡

ー 疫学的調査をもとに看護・介護を考える ー

稲崎千代子，高橋修一郎（医療法人麓仁会 筑波学園病院）

P1-1-A57 脳血管障害高齢者の在宅復帰支援のための基礎的研究（第1報）

ー 回復期リハビリテーション病棟からの転帰先に焦点をあてて ー

佐久川政吉，大湾明美，呉地祥友里（沖縄県立看護大学），坂東留美（南大東村保健センター）
宮城重二（女子栄養大学）

外来看護

P1-1-A58 外来に通院する慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者の食事摂取状況と栄養状態との関連

太田美津子（福岡大学附属看護専門学校），大浦ゆう子（国際医療福祉大学大学院）
有田久美（福岡大学附属看護専門学校），湯沢八江（国際医療福祉大学大学院）

11月3日（祝）	P1 会場（医学部中央校舎 2F）
討論指定時間 16:15 ～ 17:00	

ターミナルケア

- P1-1-B59** 緩和ケア病棟で働く看護師が終末期にある高齢患者に対して大切に思っていること
間奈央美（神戸市看護大学大学院博士前期課程）、沼本教子、岩郷しのぶ（神戸市看護大学）
- P1-1-B60** 終末期を介護老人福祉施設で暮らす後期高齢者の QOL（生活満足度）関連要因
流石ゆり子（山梨県立大学看護学部）、伊藤康児（名城大学人間学部）
- P1-1-B61** 施設におけるターミナルケアのあり方
ー 看取りに関する実態調査から ー
清水千代子、福島昌子（群馬県立県民健康科学大学）
- P1-1-B62** 介護老人保健施設における死の看取りの現状と課題
ー A 県 3 地区の調査より（第 2 報） ー
古川直美、小野幸子、坪井桂子、古田さゆり、岩崎佳世、奥田浩子、平岡葉子（岐阜県立看護大学）
- P1-1-B63** 介護老人福祉施設で暮らす後期高齢者にとってのお迎えを待つということ
牛田貴子、藤巻尚美、流石ゆり子、深澤美保（山梨県立大学看護学部）
鶴田ゆかり（前山梨県立大学看護学部）
秋山小枝子（介護老人保健施設甲州ケアホーム）、西山かおる（有料老人ホームサンライフ寿）
藤原三千代（介護老人保健施設甲州ケアホーム）、植松春美（甲州リハビリテーション病院）
須田久美（介護老人保健施設甲州ケアホーム）、飯島文子（前介護老人福祉施設寿ノ家）

転倒予防

- P1-1-B64** ケア提供者からみた軽度要介護高齢者への歩行支援上の課題
松下恭子、多田敏子、谷岡哲也、山下留理子（徳島大学医学部保健学科）
原祥子（島根大学医学部看護学科）
東山由実（釧路労災看護専門学校）、山本澄子（新潟大学医学部保健学科）
岡本佐智子（埼玉県立大学保健医療福祉学部）
- P1-1-B65** 要支援・軽度要介護高齢者の歩行支援機器の実態調査
大畑政子、原祥子（島根大学医学部看護学科）、松下恭子、多田敏子（徳島大学医学部保健学科）
- P1-1-B66** 要支援・要介護高齢者に対する転倒予防にむけた看護介入の効果
近藤裕子（元三重県立看護大学大学院）、稲毛由美子（デイハウスおしゃべり）
澤井史穂、鈴木みずえ（三重県立看護大学）
- P1-1-B67** 看護師の入院高齢者への転倒予防ケア実践に対する支援
ー 病棟看護師へのかかわりを通して ー
三村千弦（東京女子医科大学病院）、水野敏子、小長谷百絵（東京女子医科大学）

ケアの連携

- P1-1-B68 在宅で認知症高齢者を介護する家族が施設サービス専門職者と伝え合いたい情報
松田千登勢（大阪府立大学）
- P1-1-B69 高齢者介護施設における看護職と介護職の協働の現状と課題
ー 医療行為に対する不安とヒヤリハット体験との関連に焦点をあてて ー
野崎玲子（聖隷クリストファー大学）、板倉勲子（園田学園女子大学）
飯田澄美子（聖隷クリストファー大学）
- P1-1-B70 A県における特別養護老人ホームの看護職を対象とした研修会の評価
ー連携・協働に関する講義・演習の自己評価シートの分析ー
坪井桂子、古川直美、岩崎佳世、古田さゆり、平岡葉子、奥田浩子、小野幸子（岐阜県立看護大学）
- P1-1-B71 介護老人保健施設の看護職が感じているジレンマと課題の検討
岩崎佳世、古川直美、坪井桂子、古田さゆり、平岡葉子、奥田浩子、小野幸子（岐阜県立看護大学）
- P1-1-B72 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）で働く介護職と看護職の連携・共働を阻む要因
福岡裕美子（秋田看護福祉大学看護福祉学部看護学科）
- P1-1-B73 介護老人保健施設における排泄ケアとスタッフのチームワークに対する認識について
ー 看護職と介護職の比較から ー
東村志保（東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士前期課程）
高崎絹子、千葉由美（東京医科歯科大学大学院）

11月3日（祝）	P2会場（医学部中央校舎4F）
討論指定時間 15:30～16:15	

高齢者の生活とケア

- P2-1-A74** 在宅高齢者の健康寿命を支える地域保健福祉の基盤作りに関する研究2
- ー 中山間地域に住む在宅高齢者の健康生活と支えあいの意識 ー
- 岡田ゆみ（広島国際大学看護学部看護学科）、太湯好子、神宝貴子（岡山県立大学保健福祉学部）
竹田恵子（川崎医療福祉大学医療福祉学部）、山崎悦子（岡山県総社市役所健康管理課）
林聖子（総社市役所健康管理課）
- P2-1-A75** 急性期病院における脳疾患入院患者の食事摂取方法と入院期間の関係
- 田中久美（筑波メディカルセンター病院）、堀内ふき（茨城県立医療大学）
- P2-1-A76** 介護老人保健施設の入所高齢者と看護・介護職者の日常生活援助に対する評価の相違
- 福田峰子（藤田保健衛生大学衛生学部衛生看護学科）、山幡信子（前愛知医科大学）
八島妙子（愛知医科大学）
- P2-1-A77** 心臓疾患を持つ高齢者のQOL
- 辻村史子、平木尚美（藍野大学医療保健学部看護学科）
- P2-1-A78** 入浴ケア場面におけるケアスタッフの判断の過程
- ー 介護保険施設の一般浴場面に関するインタビューを通して ー
- 橋本智江（石川県立看護大学大学院）、元尾サチ（内灘温泉病院）、村田清美（第二松寿園）
川島和代（石川県立看護大学）、藤田三恵（やわたメディカルセンター）

高齢者の健康問題とケア

- P2-1-A79** せん妄発症リスクの高い高齢者の入院初期の体験
- ー 大腿骨頸部骨折高齢患者に焦点をあてて ー
- 岩鶴早苗（西神戸医療センター）
- P2-1-A80** 熟練看護師が行っている「認知症高齢者のからだを整える」看護ケアの明確化
- 長畑多代（大阪府立大学 看護学部）
- P2-1-A81** 高齢者の術後せん妄に対する看護師の意識
- 内山朋美（東邦大学医療センター佐倉病院）

高齢者観

- P2-1-A82** 健康高齢者実習プログラムに高齢者疑似体験を組み入れた学習効果
- ー 高齢者に対する年齢と色のイメージより ー
- 藤巻尚美、流石ゆり子、牛田貴子（山梨県立大学看護学部）
鶴田ゆかり（前 山梨県立大学看護学部）
深澤美保（山梨県立大学看護学部）

尺度開発

- P2-1-A83** 日本の老年看護学およびその関連領域における尺度開発の動向
- 北素子（東京医療保健大学医療保健学部）、谷口千絵（首都大学東京健康福祉学部）

11月3日（祝）	P2会場（医学部中央校舎4F）
討論指定時間 16:15～17:00	

高齢者の心理

- P2-1-B84 後期高齢者男性の発達課題の構造
中澤明美（共立女子短期大学）、服部紀子（横浜市立大学）、岡田久雄（桜美林大学大学院）
- P2-1-B85 在宅高齢者が症状を訴え続けることの意味
ー 在宅高齢者看護の前提となる高齢者理解 ー
高岡哲子、服部ユカリ（旭川医科大学医学部看護学科）
- P2-1-B86 地域で生活する高齢者の「死に対する態度」の特徴
佐野望（共立女子短期大学）
- P2-1-B87 青年期以降の健常者における身体満足度の世代間差と性差
小笠原サキ子（東北福祉大学）、菅原千恵子（特別養護老人ホーム百合ヶ丘苑）
煙山晶子（秋田大学）

看護教育

- P2-1-B88 老年看護学分野における尿失禁ケアに関する看護教育の実態調査
新井明子、小泉美佐子（群馬大学医学部保健学科）
- P2-1-B89 高齢療養者の家族看護に対する理解を深めるためのロールプレイング演習の検討
ー Visual Analogue Scale による看護大学生の興味・関心度の測定 ー
森鍵祐子、齋藤美華、川原礼子（東北大学医学部保健学科看護学専攻）
- P2-1-B90 老年看護学特論課題レポートの分析
ー レポート内容の質的分析 ー
三木喜美子（広島国際大学看護学部）、讃井真理（呉大学）、白木智子（広島国際大学看護学部）
- P2-1-B91 看護学生の通所サービス実習における高齢者との出会いの分析
三澤久恵、中澤明美、佐野望、山崎祐紀（共立女子短期大学）
- P2-1-B92 老年看護学実習における学生と認知症高齢者とのコミュニケーションの特徴
温水理佳、松波美紀（岐阜大学医学部看護学科）、服部真弓（グループホーム あいか）
箕浦とき子、吉川美保（岐阜大学医学部看護学科）
- P2-1-B93 「自然な人間の動き」を基本とした「身体の動かし方」の演習の学び
ー 高齢者の“持てる力”の活用を強調した老年看護教育方法の検討 ー
松波美紀、温水理佳、箕浦とき子、吉川美保（岐阜大学医学部看護学科）
服部真弓（グループホーム あいか）

交流集会

11月3日(祝) 時間 15:30～17:00

E1 会場 (医学部中央校舎 4F E1 会場)

E1-1 介護老人保健・福祉施設の看護職者のための教育プログラム開発と支援

奥野 茂代 (長野県看護大学), 中村 恵子 (札幌市立大学看護学部)
小山 敦代 (青森県立保健大学健康科学部), 太田 規子, 千葉 真弓
曾根 千賀子 (長野県看護大学)

介護老人保健・福祉施設(以下、介護施設)の看護職者は、医療依存度の高い利用者により、限られた人的、医療資源的環境下で役割機能を担っている。しかし看護職者は、その機能を発揮する力量発展をはかる研修が少ない現状である。

集会では、これまで取り組んだ介護施設看護職対象の「ケアスキルアップ」「看護管理」「終末期ケア」に関する研修を、企画者、受講者の立場から紹介、プログラムの妥当性、活用の拡大性に関し討議したい。

E2 会場 (医学部中央校舎 4F E2 会場)

E2-1 災害で高齢者を死なせない：災害時避難支援と避難後支援

松岡 千代 (兵庫県立大学看護学部), 北川 公子 (新潟県立看護大学)
吉田 千鶴子 (岩手県立大学看護学部)

目的：災害の備えとして要援護高齢者に対する避難支援のあり方と、災害後の看護支援について、これまでの知見を元に情報交換を行い、有効な支援方法について共有する。

方法：発表者による報告と参加者を巻き込んだ意見交換を行う。報告者は、災害時の避難支援を検討している訪問看護ステーション看護職、災害時要援護者情報管理システムの活用を模索している災害看護研究従事者、避難所での看護支援活動に従事した看護職等を予定している。

E3 会場 (医学部中央校舎 5F E3 会場)

E3-1 認知症高齢者看護認定看護師の活動報告

高原 昭 (姫路聖マリア病院)

私は、認知症高齢者看護認定看護師の認定試験を受けた学生です。認定試験の合格発表はまだですが、学科の代表として申し込みさせていただきます。第一回認知症高齢者看護学科の学生から、「認知症高齢者看護認定看護師」の存在を周知したいという思いがあり、老年看護学会で発表させていただきたいと考えております。内容は現在の活動状況と今後の課題について発表させていただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

E4 会場（医学部中央校舎 5F E4 会場）

E4-1 老年看護学教育および教育研究の課題と今後の展望

大塚 真理子（埼玉県立大学），湯浅 美千代（順天堂大学）

佐藤 弘美（石川県立看護大学）

老年看護学教育は平成元年のカリキュラム改正で基礎教育に取り入れられた。老年看護学としての教育内容の整備が行なわれ、教育研究も行なわれている。しかし、その教育内容は急速な高齢社会の変化に対応しているといえるだろうか？また、その教育研究は他研究領域同様に発展しているといえるだろうか？今回の交流集会では、老年看護学の基礎教育を担当する者として疑問に思ってきたことを問題提起する。参加者の皆さんからご意見をいただき、今後の老年看護学教育の発展の方向性を探りたい。

E5 会場（医学部中央校舎 9F E5 会場）

E5-1 攻撃的行動のある認知症高齢者のケアに関わるスタッフの教育プログラムの検討

人見 裕江（島根大学），中平 みわ（グリフィス大学）

中村 陽子（関西国際大学），三村 洋美（福岡県立大学）

寺田 准子（岩倉病院），及川 登美子（介護老人保健施設愛宕園）

介護スタッフのストレスやバーンアウトは、患者の攻撃性それ自体に拠るものではなく、介護スタッフの認知症患者に対する認識や態度と相関するという見解も出現している。Astrom et al. (1990; 1991) の研究では、認知症患者に対し、否定的な態度や低い共感性を示したスタッフはバーンアウトを起こしやすい、ということが明らかにされている。われわれの行ったパイロット研究では、認知症高齢者の攻撃的行動に対して、否定的な態度のスタッフは、バーンアウト傾向にあることが示された。特に攻撃的行動を不快と捉える人は、患者に対して人でないような態度をとってしまうなどの離人化傾向にあり、最もバーンアウト症候群に陥りやすいことが示唆された。したがって、上記のパイロット研究を基に認知症高齢者の攻撃性に対するスタッフの態度とバーンアウト（燃え尽き）症候群との関係を明らかにすることを目的とする。攻撃的行動のある認知症高齢者のケアに関わるスタッフの教育プログラムを検討する一助としたい。

一般演題《口演》

11月4日（土） OM会場（メインホール）			
入院している患者のケア			
時間	9:30～10:30	座長	聖路加看護大学 亀井智子

- OM-2-A19 脳血管疾患患者に対する退院計画の効果
 ー患者・家族の評価からー
 上山真美（足利赤十字病院），小泉美佐子（群馬大学医学部保健学科）
- OM-2-A20 認知症患者の専門病棟における入院長期化の要因
 ー退院支援に向けた事例分析ー
 小川妙子，湯浅美千代（順天堂大学医療看護学部）
 石塚敦子（桜美林大学大学院国際学研究科）
- OM-2-A21 半側空間無視を有する脳卒中患者の生活障害の評価
 ー The Catherine Bergego Scale 日本語版の妥当性の検討ー
 大島浩子（慶應義塾大学看護医療学部），村嶋幸代，高山吉弘（東京大学大学院）
 金丸和富（東京都老人医療センター），大久保誠二（多摩北部医療センター）
- OM-2-A22 コミュニケーションが困難な高齢入院患者と看護学生両者の情動が安定する関わり方
 山口みずす（前千葉大学看護学部），高橋良幸，正木治恵（千葉大学看護学部）
 清水安子（前千葉大学看護学部）

11月4日（土） OM会場（メインホール）			
認知症ケア			
時間	10:30～11:30	座長	広島県立保健福祉大学 高山成子

- OM-2-B23 認知症高齢者がグループホームでの暮らしにおいて体験している不自由についての研究
 稲野聖子（医療法人社団 星晶会 介護老人保健施設 伊丹ゆうあい）
- OM-2-B24 アクティビティケアの効用に関する看護者と介護家族の捉え方の差異について
 高見美保，水谷信子，松岡千代，川口幸絵，久米真代（兵庫県立大学看護学部）
- OM-2-B25 日常生活援助に対して拒否的反応を示す認知症患者への関わり
 岡田美幸（高知県厚生農業協同組合連合会 J A 高知病院）
- OM-2-B26 在宅認知症高齢者ケアの学際的チームアプローチによる専門職の役割の検討
 杉本知子（聖路加看護大学大学院博士後期課程），亀井智子（聖路加看護大学）
 友安直子（前看護実践開発研究センター），梶井文子（聖路加看護大学）
 久代和加子（淑徳大学看護学部）
 山田艶子（聖路加看護大学），辻彼南雄（ライフケアシステム），橋本泰子（大正大学）

11月4日（土） O1会場（臨床講堂Ⅰ）			
家族援助			
時間	9:30～10:30	座長	千葉市立青葉病院 佐瀬真粧美

- O1-2-A27** 看護学科学生の家族員としての介護参加と家族介護に関する認識
遠藤さやか（鳥取大学医学部附属病院），太湯好子（岡山県立大学保健福祉学部）
- O1-2-A28** 急性期にある高齢脳卒中患者をもつ家族のストレスに関する研究
ーストレスの構造とストレス反応との関連ー
峠美恵子（自治医科大学看護学部），水野敏子，小長谷百絵，伊藤景一（東京女子医科大学）
- O1-2-A29** 高齢患者を持つ家族の早期介護力評価による家族介護力の維持向上に関する研究
岡田知香（順天堂医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター）
新田章子（前順天堂医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター）
御厨聖美，神田麻子
藁谷藍子，鈴木淳子（順天堂医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター）
- O1-2-A30** 高齢者における地域交流に関する研究
ー近所・友人・別居子との交流に焦点をあててー
工藤洋子（東北福祉大学 健康科学部）

11月4日（土） O1会場（臨床講堂Ⅰ）			
高齢者の機能と健康			
時間	10:30～11:30	座長	千葉大学 正木治恵

- O1-2-B31** 地域高齢者における認知症予防教室の効果に関する研究
高木佐和子（佐賀中部広域連合 介護予防研究会），木村裕美（佐賀大学医学部）
松本昌子，松永武宏，野崎由紀子，石丸典子，新郷美智恵，井出野伸子
北古賀加寿子，堀田美香，山口美恵（佐賀中部広域連合 介護予防研究会）
- O1-2-B32** 高齢者の行動・心理と症状に対して看護室で見守りを行うことへの看護師の意識
山岸千恵（茨城キリスト教大学），會田美恵子（茨城県きぬ看護専門学校）
丸井明美，（つくば国際短期大学），上原朋子（土浦協同病院附属看護専門学校）
浅野均（茨城県きぬ看護専門学校），関千代子（つくば国際短期大学）
佐藤圭子（つくば看護専門学校）
沼理悦子（東京医科大学霞ヶ浦病院），松野未来（取手協同病院）
堀内ふき（茨城県立医療大学）
- O1-2-B33** 要介護者のおむつ交換に伴う腰部負担の生体力学的評価
正源寺美穂（金沢大学大学院医学系研究科）
瀬尾明彦，青野智徳，堂本慎一郎（首都大学東京）
正井章子，林博美，梅林真紀，福川三佳子（ユニ・チャーム株式会社）
泉キヨ子（金沢大学大学院医学系研究科）
- O1-2-B34** 老年期に糖尿病と診断された人の疾病認知の過程
本郷美代子（草津総合病院看護部），中野雅子（京都市立看護短期大学）

11月4日（土） O2会場（臨床講堂Ⅱ）			
看護教育			
時間	9:30～10:30	座長	兵庫県立大学 水谷信子

- O2-2-A35 老年看護学演習「レクリエーションの企画・実践」の効果
 ―学生の演習終了後課題レポートの分析による学習内容の検討―
 服部紀子，島田今日子，青木律子（横浜市立大学医学部看護学科）
 安藤邑恵（岐阜医療科学大学）
- O2-2-A36 老化の理解を深める CAI 教材を用いた学習効果
 ―「エンジグ・ゲーム 2006」演習前・後の価値観の比較―
 横山ハツミ（広島国際大学看護学部），林慎一郎（広島国際大学保健医療学部）
 廣川聖子，白木智子，面本眞壽恵（広島国際大学看護学部）
- O2-2-A37 学生が高齢者を理解するため臨床実習カンファレンスにプロセスレコードを活用する意味
 上野佳代（桜美林大学大学院国際学研究科，元帝京平成看護短期大学）
- O2-2-A38 おむつ体験による学生の不快感の特徴と排泄ケアの学び
 ―老年看護学教育におけるおむつ体験学習の評価―
 内田陽子，小泉美佐子，新井明子（群馬大学医学部保健学科）

11月4日（土） O2会場（臨床講堂Ⅱ）			
高齢者の心理 2			
時間	10:30～11:30	座長	東海大学 深谷安子

- O2-2-B39 長期にわたり施設で排泄援助を受ける高齢者の体験
 吉本和樹（奈良社会保険病院）
- O2-2-B40 身体障害をもつ施設入所高齢者の地域性による自己意識の相違
 沖中由美，中野静子（愛媛県立医療技術大学），沼本教子（神戸市看護大学）
- O2-2-B41 脳血管障害をもつ在宅高齢者の社会生活適応のための対処プロセス
 三好陽子，天野瑞枝（藤田保健衛生大学衛生学部衛生看護学科）
- O2-2-B42 療養病棟に入院中の日常生活援助を必要とする要介護高齢者の主観的体験
 ―3名の高齢者の分析から―
 久保川真由美（高崎健康福祉大学），水野敏子（東京女子医科大学）

一般演題《示説》

11月4日(土) P1会場(医学部中央校舎2F)

討論指定時間 9:30～10:30

家族援助

- P1-2-A94 認知症高齢者の家族介護者の介護負担感と医療ニーズとの関係**
松本啓子(川崎医療福祉大学医療福祉学部)
- P1-2-A95 在宅要介護高齢者の家族の介護意識と支援への課題**
古城幸子, 太田浩子, 土井英子, 真壁幸子
栗本一美, 金山時恵, 木下香織, 杉本幸枝(新見公立短期大学)
- P1-2-A96 認知症高齢者の家族介護者が家族の集いに参加することの意味**
ー初回参加事例の分析よりー
清田玲子(元川崎医療短期大学 第二看護科), 松本啓子(川崎医療福祉大学)
池田敏子(岡山大学), 羽井佐米子(旭川荘厚生専門学院)
- P1-2-A97 認知症と診断されるまでの高齢者とともに生きる家族の体験**
ー家族の認識・思い・対処の側面からー
安武綾, 福島龍子, 五十嵐恵子, 小玉敏江(東邦大学医学部看護学科)

高齢者の生活とケア

- P1-2-A98 老人性難聴をもつ高齢者における補聴器への順応**
大島あゆみ(金沢大学医学部附属病院), 泉キヨ子, 平松知子(金沢大学大学院医学系研究科)
- P1-2-A99 在宅要介護高齢者の耳垢蓄積と耳のケアの実態**
末弘理恵, 三重野英子, 横山哲代(大分大学医学部看護学科)
吉原悦子(大分大学大学院医学系研究科), 浜口和之(大分大学医学部看護学科)
- P1-2-A100 療養中の後期高齢者の栄養状態と毛髪中ミネラルの検討**
福島龍子, 五十嵐恵子, 安武綾, 小玉敏江, 荒井一步(東邦大学医学部看護学科)
- P1-2-A101 高齢者の排泄ケアに関する温電法での看護介入**
留畑寿美江(旭川医科大学医学部看護学科), 井垣通人
鈴木敦(花王株式会社ヘルスケア研究所), 岩元純(旭川医科大学医学部看護学科)
- P1-2-A102 高齢者にとっての集団レクリエーションの意味**
ー老人保健施設入所者の参加経験の語りからー
青木律子(横浜市立大学医学部看護学科)
- P1-2-A103 施設入所高齢者の日常生活行動に関する要望や困り事とその構成要素**
木村勇介, 深谷安子(東海大学健康科学部看護学科)
- P1-2-A104 沖縄県H島における住民主体の地域ケアシステム構築の評価(第11報)**
ー「ゴミだしボランティア」誕生のプロセスからー
大湾明美, 佐久川政吉, 大川嶺子(沖縄県立看護大学)
- P1-2-A105 療養病棟における看護・介護職員のサービスの質向上をめざしてーパートⅡ**
澤村正子, 新藤美悟, 中山美幸(北海道済生会西小樽病院)
- P1-2-A106 虚弱高齢者の寝返り動作の現状と背景の分析**
野崎真奈美(東邦大学)

P1-2-A107 高齢者の子どもとの交流と社会参加活動との関連

白岩麗香（愛知医科大学病院），山幡信子（前愛知医科大学看護学部）
八島妙子（愛知医科大学看護学部），渡邊智子（福岡県立看護大学）
木村寿美（前愛知医科大学看護学部）

転倒予防

P1-2-A108 大腿骨頸部骨折高齢者の再転倒に対する対処行動―第2報―

―転倒経験より習得した具体的転倒予防方法―

佐田律子（聖路加国際病院），泉キヨ子，平松知子（金沢大学医学系研究科）

P1-2-A109 高齢者の姿勢の安定性と転倒との関係

― Functional Balance Scale を使用して―

小林真由美（福井大学医学部附属病院），中村陽子（福井大学）

11月4日(土) P1会場(医学部中央校舎2F)
討論指定時間 10:30～11:30

認知症ケア

- P1-2-B110** 認知症高齢者グループホームにおけるケアプロセスガイドライン作成の試み
永田千鶴(熊本大学医学部保健学科看護学専攻)
- P1-2-B111** 既存の老人性認知症疾患治療病棟へのユニットケア方式導入までのプロセス
田道智治, 渡邊啓子
八木範子, 松尾絵美(順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター)
湯浅美千代, 小川妙子(順天堂大学医療看護学部)
- P1-2-B112** 急性期を担う病院の看護師が学びなおす認知症看護
ー研修企画の実施と評価ー
湯浅美千代(順天堂大学医療看護学部), 諏訪さゆり(認知症介護研究・研修東京センター)
酒井郁子(千葉大学大学院看護学研究科)
- P1-2-B113** 急性期を担う病院の看護師が学びなおす認知症看護
ー研修前後の受講者の認識からみた研修効果ー
酒井郁子(千葉大学大学院看護学研究科), 湯浅美千代(順天堂大学医療看護学部)
諏訪さゆり(認知症介護研究・研修東京センター)
- P1-2-B114** 介護老人保健施設における認知症高齢者のための医療連携の実態
諏訪さゆり(認知症介護研究・研修東京センター)
吉本照子, 酒井郁子(千葉大学大学院看護学研究科), 湯浅美千代(順天堂大学医療看護学部)
- P1-2-B115** 回想法で用いるプロンプトが認知症高齢者におよぼす影響
佐藤弘美, 天津栄子, 金川克子(石川県立看護大学), 田高悦子(東京大学大学院医学系研究科)
酒井郁子(千葉大学大学院看護学研究科), 細川淳子, 伊藤麻美子, 松平裕佳(石川県立看護大学)
元尾サチ(内灘温泉病院)
- P1-2-B116** 認知症高齢者グループホームのスタッフが認識している困難さに対応
ー身体面の健康問題に焦点をあててー
楠本祐子, 奥野茂代, 千葉真弓(長野県看護大学)
- P1-2-B117** 認知症高齢者の攻撃的行動のタイプ別スタッフの態度とストレスとの関係
人見裕江(島根大学医学部看護学科), 中平みわ(グリフィス大学)
中村陽子(関西国際大学), 三村洋美(福岡県立大学), 大森百華(鳥取生協病院)
松本由香, 杉本宏美(鳥取大学医学部附属病院), 寺田准子(島根大学医学系研究科修士課程)
小中綾子(島根大学), 及川登美子(島根大学医学系研究科修士課程)
別所孝子(島根大学大学院)

高齢者の健康問題とケア

- P1-2-B118** 熟練看護師が持つ高齢脳梗塞患者のせん妄発症に対する臨床予測に関する研究
菅原峰子, 北川公子(新潟県立看護大学)
- P1-2-B119** 在宅後期高齢者の足指・爪のケアによる生活機能の変化
溝下順子(財団法人杏仁会 介護老人保健施設フォレスト熊本)
三重野英子, 横山哲代, 末弘理恵, 浜口和之(大分大学)

- P1-2-B120 在宅高齢者の低栄養の早期発見および予防・改善に向けた訪問看護の質評価指標の開発
山田律子（北海道医療大学看護福祉学部），石垣和子，山本則子（千葉大学看護学部）
- P1-2-B121 中高年女性の生活習慣と骨密度の関係
ー継続的な骨密度測定の結果からー
木内千晶，石川みち子，吉田千鶴子，小倉美沙子（岩手県立大学看護学部）
- P1-2-B122 在宅療養者の服薬プロセスに関する調査研究
有田久美（福岡大学附属看護専門学校），湯沢八江（国際医療福祉大学）

災害看護

- P1-2-B123 新潟県中越地震により被災した認知症高齢者の生活状況および心身状態の変化
村川英伸，北川公子（新潟県立看護大学）

11月4日(土) P2会場(医学部中央校舎4F)
討論指定時間 9:30～10:30

看護教育

- P2-2-A124 老年看護学におけるディベートの教育効果について
煙山晶子(秋田大学), 小笠原サキ子(東北福祉大学)
- P2-2-A125 「運動とレクリエーション」演習の臨地実習における有効性の検討
山田たず子, 蝦名總子, 井上ふさえ, 浅賀清美(慈恵看護専門学校)
林恵子(沼津市立看護専門学校)
- P2-2-A126 老年看護学実習における学生の「困った」経験からの分析
ーコミュニケーションに焦点をあててー
島田今日子, 服部紀子, 青木律子(横浜市立大学医学部看護学科)
安藤邑恵(岐阜医療科学大学保健科学部)
- P2-2-A127 高齢者看護学Ⅱにおけるディベート学習導入の試み
ー 老人保健施設における多職種連携と継続看護の視点から ー
五十嵐恵子, 安武綾, 福嶋龍子, 小玉敏江(東邦大学医学部看護学科)

卒後教育

- P2-2-A128 訪問看護師を対象にした認知症高齢者看護に関する研修プログラムの実施と評価
小野塚元子(諏訪赤十字病院), 奥野茂代, 千葉真弓(長野県看護大学)
近藤恵子(長野赤十字病院), 楠本祐子(長野県看護大学), 西澤ひとみ(長野県看護協会)
太田規子(長野県看護大学), 神崎由紀(元長野県看護大学), 曾根千賀子(長野県看護大学)

看護管理

- P2-2-A129 看護師による介護職者への緊急対応に対する教育的取り組み
ー特別養護老人ホームにおける介護職者へのニーズ調査を通してー
上西洋子, 中岡亜希子(大阪市立大学医学部看護学科)
森本早苗, 八谷智子(大阪市立弘済院第2特養)
福田伊佐子, 栗崎寿美子, 杉山百代(大阪市立弘済院附属病院)
- P2-2-A130 老人施設に勤務する看護および介護職員の身体的, 心理的ストレス
ー尿中バイオピリンとストレス反応尺度 PSRS-50R を用いてー
箱石文恵, 岩沢純子, 井上寛隆, 霜田敏子
原嶋朝子, 小峰伸一, 片山博雄(埼玉医科大学短期大学)
- P2-2-A131 介護療養型医療施設で働く看護師の意欲に関連する要因
栗本聡美(神戸市看護大学大学院看護学研究科), 沼本教子, 岩郷しのぶ(神戸市看護大学)
- P2-2-A132 転倒予防に向けたリスクマネジメント活動への支援とその成果
ー介護老人保健施設における取り組みを通してー
丸山優, 大塚真理子(埼玉県立大学), 野口美和子(前自治医科大学)
- P2-2-A133 介護老人保健施設における認知症高齢者のリスクマネジメント活動の組織的取組と成果
ー研究者と施設職員の協働によるアクションリサーチを通してー
大塚真理子, 丸山優(埼玉県立大学), 野口美和子(前自治医科大学)

11月4日(土) P2会場(医学部中央校舎4F)
討論指定時間 10:30～11:30

ターミナルケア

- P2-2-B134 特別養護老人ホームの終末期ケアに対する職員の意識 その1
 ―N県の終末期ケアの実態―
 清水みどり(新潟青陵大学), 柳原清子(新潟大学), 小林祐子, 中村悦子(新潟青陵大学)
- P2-2-B135 特別養護老人ホームの終末期ケアに対する職員の意識 その2
 ―ターミナルケア態度尺度を用いた分析―
 柳原清子(新潟大学), 清水みどり, 小林祐子, 中村悦子(新潟青陵大学)
- P2-2-B136 ユニットケア導入の特別養護老人ホームにおける死の看取りの現状と課題
 古田さゆり, 小野幸子, 古川直美, 坪井桂子, 岩崎佳世, 奥田浩子, 平岡葉子(岐阜県立看護大学)
- P2-2-B137 介護老人保健施設において看取りを終えた家族の思い
 ―家族が大切にしたい「最期まで生きる」とは―
 小野光美, 沼本教子(神戸市看護大学), 原祥子(島根大学)
 河本久美子(社会保険神戸中央病院)
 井下訓見, 猪子弘美, 野口孝子(神戸社会保険介護老人保健施設)
 中平ふじみ(あんしんすこやかセンター), 山下静子(前神戸社会保険介護老人保健施設)
- P2-2-B138 グループホームで暮らす認知症高齢者の終末期支援に期待される看護師の役割
 千葉真弓, 奥野茂代, 太田規子, 曾根千賀子(長野県看護大学), 神崎由紀(元長野県看護大学)
 楠本祐子(長野県看護大学), 浅野久美子(長野県看護大学大学院)
- P2-2-B139 I県老人クラブ員のエンドオブライフ期に対する意識
 吉田千鶴子, 石川みち子(岩手県立大学看護学部)

訪問看護

- P2-2-B140 介護継続意識における介護負担感と介護肯定感の関連
 新鞍真理子(富山大学 医学部看護学科), 飯田佳奈(京都第二赤十字病院)
 多田さや香(福井県立病院), 布村朋子(富山大学附属病院)
 藤田尚子(富山大学大学院修士課程), 荒木晴美, 炭谷靖子(富山大学 医学部看護学科)
- P2-2-B141 要介護腹膜透析療養者の在宅療養支援モデルの検討
 三村洋美, 渡邊智子(福岡県立大学), 人見裕江(島根大学医学部)
 田村博之(東京共済病院腎臓内科)
- P2-2-B142 高齢者を在宅で看取る家族が死を受容する過程における訪問看護師のケアとは
 ―訪問看護師がとらえる「死を待つ時間の意味」―
 長尾匡子(園田学園女子大学人間健康学部人間看護学科)
- P2-2-B143 高齢期における死別反応: 持続期間について
 宮林幸江(宮城大学), 安田仁(元福島大学大学院)

交流集会

11月4日(土) 時間 9:30～11:30

E1 会場 (医学部中央校舎 4F E1 会場)

E1-2 認知症高齢者の尊厳を支えるための評価システム

ー老年看護における認知症ケアマッピングの現状と課題ー

日比野 千恵子 (国立長寿医療センター), 鈴木 みずえ (三重県立看護大学)

パーソン・センタード・ケアは、認知症に苦しむその人が認知症によるさまざまな障害を担いながらもいかに生きていくかに着目した認知症ケアのための理論である。認知症ケアマッピングはパーソン・センタード・ケアに基づいたケアの質の改善を目的とした評価システムである。本交流会では、認知症高齢者の尊厳を支えるために、わが国の老年看護の実践および研究における現状と課題について討議していきたい。

E2 会場 (医学部中央校舎 4F E2 会場)

E2-2 みんなで考えよう！倫理調整 Part 2

ー高齢になった時、あなたが望むケアとはー

西山 みどり (神戸海星病院), 岡本 充子 (近森病院)

得居 みより (兵庫県立姫路循環器病センター), 藤田 冬子 (長浜赤十字病院)

谷 規久子 (小千谷総合病院), 山口 和子 (嬉野温泉病院)

桑田 美代子 (青梅慶友病院), 吉岡 佐知子 (松江市立病院)

老人看護専門看護師には、特に高齢者の人らしさが尊重されるような倫理的判断が求められている。昨年に引き続き、老人看護専門看護師の活動を紹介しながら、本年度のインフォメーションエクステンジでは、「高齢者の人らしさ」をキーワードに、臨床の場における倫理的問題を、どのように捉え解決策を見出していくのか、参加者とともにディスカッションしてみたい。

E3 会場 (医学部中央校舎 5F E3 会場)

E3-2 診療報酬改定と老年看護の取り組み

日本老年看護学会研究・教育活動推進委員会、看護政策検討委員会

日本老年看護学会研究教育活動推進委員会主催による交流集会。平成 18 年度診療報酬改定により、看護実践の場もさまざまな影響を受けている。特に高齢者の多くいる急性期医療機関、療養型病床、リハビリ専門病院における現場の動きを情報交換し、課題を共有したい。さらに今後の診療報酬改定に向けて、老年看護としてどのように取り組んでいくかについて討議したい。

E4-2 だれでもできる 最新の簡単、安全、高齢者の口腔ケア

村松 真澄（北海道大学大学院歯学研究科・口腔健康科学講座高齢者歯科学教室博士課程）

高齢者は、複数の疾病を持ち、薬剤による唾液分泌低下による口腔乾燥が問題である。そのため、口腔内細菌叢が代わり、カリエスや歯周病が進みやすく、咬合の崩壊が始まる。また、粘膜の汚れで口内炎、舌炎、粘膜炎などになることもあり、食べる口が維持できなくなる。歯科との連携と簡単で効果的な日常的口腔ケアで口から誤嚥性肺炎の予防と食べる支援をしたい。病院でも在宅でもできる安全・安楽な患者の生活の質が向上する最先端の口腔ケアを実習する。

日本老年看護学会 第11回学術集会

企画委員会

学術集会長 水野 敏子（東京女子医科大学）

企画委員 會田 信子（東京女子医科大学）
浅川 典子（埼玉医科大学）
鎌倉 里美（東京女子医科大学東医療センター）
川野 良子（東京女子医科大学病院）
小長谷百絵（東京女子医科大学）
坂井 志麻（東京女子医科大学）
佐藤 浩子（東京都老人医療センター）
高崎 絹子（東京医科歯科大学大学院）
沼本 教子（神戸市看護大学）
根本 敬子（千葉大学）
細見 明代（神戸市看護大学）
山元由美子（東京女子医科大学）
吉尾千世子（昭和大学）

日本老年看護学会 第11回学術集会 プログラム

2006年9月30日発行

編集・発行 日本老年看護学会 第11回学術集会
〒162 - 8666 東京都新宿区河田町8 - 1
東京女子医科大学看護学部内
学術集会 FAX 03 - 3341 - 8832（代表）
学術集会専用 E-mail gerontoll@nurs.twmu.ac.jp
第11回学術集会ホームページ <http://www.rounenkango.com>

発行人 水野 敏子

印刷・製本 協和印刷工業株式会社
